



Title	太宰治スタディーズ 第1号 表紙
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2006, 1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/97250">https://hdl.handle.net/11094/97250</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# DAI studieS 太宰治スタディーズ

第1号 2006.06 総特集 = 『斜陽』

---

いま、なぜ、太宰治『斜陽』なのか 松本和也

【太宰治『斜陽』研究史】

1940年代 岡村知子／1950年代 井原あや／1960年代 松田 忍  
1970年代 永吉寿子／1980年代 小澤 純／1990年代 吉岡真緒

【研究論文】

大國眞希 虹と水平線

斎藤理生 太陽と言葉—『斜陽』試論

萬所志保 太宰治『斜陽』についての一考察—〈真／偽〉を超えて

吉岡真緒 太宰治「斜陽」論—物語の転換と余白

井原あや 『斜陽』のざわめく周縁—〈太田静子〉のイメージ化—

小澤 純 《傾斜》する記憶—『斜陽日記』／『斜陽』試論

青木京子 『斜陽』と〈道德革命〉—「教育勅語」・「家族制度」をめぐって

岡村知子 太宰治「斜陽」論—問題系としての戦後ロマン主義—

滝口明祥 かず子の〈革命〉、サチ子の〈退屈〉

—太宰治『斜陽』と坂口安吾『青鬼の禪を洗う女』

永吉寿子 「斜陽」における〈破壊〉と〈犠牲〉—太宰治の倫理性

松本和也 明滅する〈自由〉—太宰治『斜陽』を解読する

---

「太宰治スタディーズ」の会